

7.7 脱離：E2反応

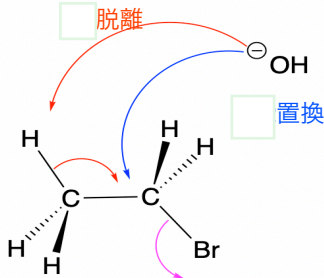
Elimination

2nd-order

脱離

二次反応 (2分子的)

一段階反応 (concerted), 遷移状態1つ



反応速度：攻撃する分子と攻撃される分子の濃度に比例 (二次反応：SN2と同じ)

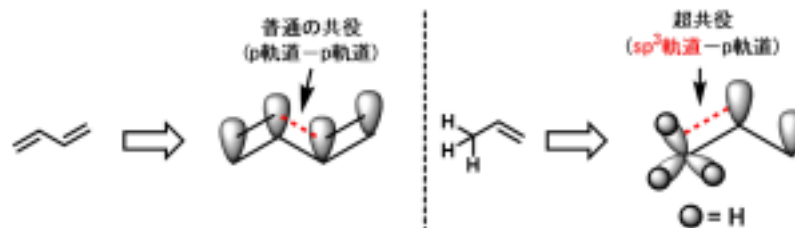
Zaitsev則： アルケンが生成する方が有利

理由

多置換アルケン熱力学的に安定 (←→ 多置換カルボカチオンが安定)

理由

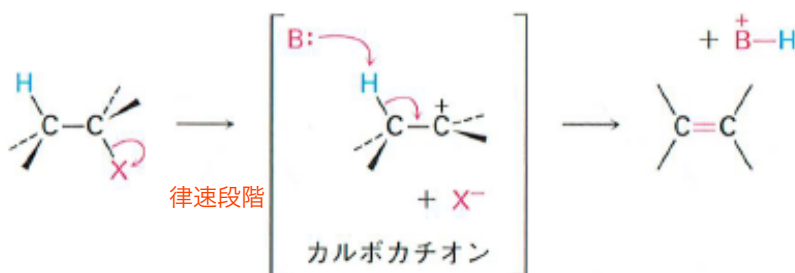
C-H結合との超共役



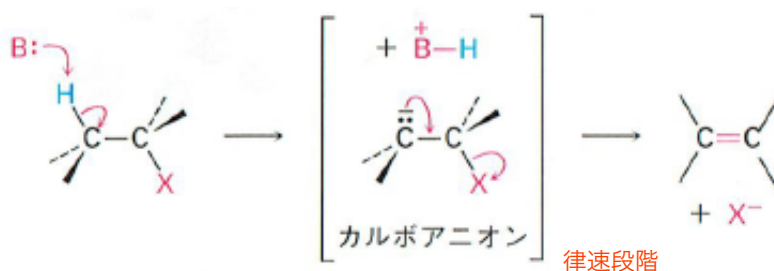
$$E_n = h^2 n^2 / 8mL^2$$

Eは軌道のエネルギー、Lは電子が存在する距離を表す。
つまり、電子の移動できる領域が広がると、化合物は安定になる。

E1 脱離



E1cB脱離

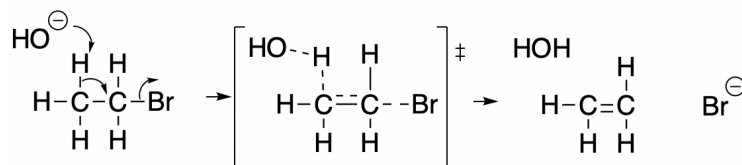


7.7 脱離：E2反応

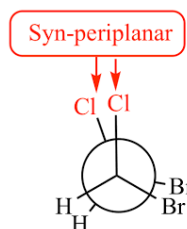
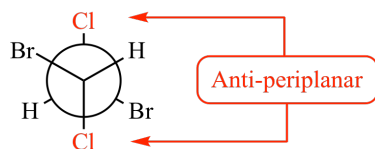


遷移状態の書き方：

 結合と 結合を点線で書く



 ペリプラナーと ペリプラナー



メソ-1,2-ジブromo-1,2-ジフェニルエタンのE2脱離

